

# 高退協ニュース

高知高退協事務局  
2010. 1. 1  
No.162  
2010年  
1月 1日

高知県高等学校退職教職員協議会  
高知市丸の内2丁目1-10  
TEL 088-1822-1682  
TEL 088-1822-1682  
TEL 088-1822-111893  
教育会館内高教組気付  
郵便振替口座 0165012111893



カット 八波 聖子

## 老輝

会長 三谷隆彦  
新年おめでとうございます。高退協諸活動への協力有難うございます。本年もよろしくお願ひします。

昨年十月に山の会は男女十人で寒風山(標高1763m)へ登りました。満80歳の誕生日を迎える浜田隆史氏は登山口から2時間40分かけて登頂しました。頂上は文字通り寒い風が吹いていましたが、お顔がほてりさわやかな様子でした。  
この度『こうたいきょう』第30号を発行しました。小特集「地域で輝く」に沢山寄稿していただきました。後下り、福祉施設で四苦八苦、トランポリン、町内会活動、幡多に大学をなど多方面にわたり活躍しています。

退職後、社会役立つ奉仕活動に輝いています。社会が良くなれば回りまわって自分も住みやすくなります。自己の栄養運動、精神衛生にも留意なさっているのか、皆さんお元気です。

ところで小生の言動は制御装置が錆びたのか、七〇にして短をこえて困ります。  
吉野文六・元外務省アメリカ局長(91歳)は日米両政府の沖縄密約の存在を認めました。吉野氏は38年間、政府によって口を封じられていました。それが法廷でピカッと光りました。次は核兵器持込の真相究明で誰かの錆びた口が光るかもしれません。  
今年も老人が輝く年になりそうです。

高退協は、4月新しい仲間を迎える、先輩の活動の記録を紹介する。

1993年「勲評裁判」島内一夫、94年「青い麦」横田慧、「行旅三十八年」田所金久、00年「新緑」山本晶子、04年「満天の星」山原健二郎、06年「香長ゼミナールと窪田充治の活動の記録」06年「希望を語って闘って」叶岡哲さんの足跡を記録する会・編、08年「折々の記」林勲、08年「山常の年輪」山崎常吉等々、これは、私の

## 出版コーナー

教育センターに

和田 明

手元にある出版物である。(w)と、81年父の自叙伝「いこつそのの履歴書」山本広喜、92年「あたりまえの教育」鎌田伸一・窪田充治等編、98年「思い出の50年史」宮川敏彦編、本になってないが、01年「高知大学生へのメッセージ・君たちは何のためになぜ学ぶのか」正木哲雄、「数学なんかやつけれ」和田幸男・正木哲雄著は見つからなかったが、これらの著書を整理し、学習の場に出したい。

## 車声老話

### 懐かしい人の名のことなど

横田 慧

高退協の名簿のなかに、いまでは知る人も少ない森田早稲さん(故人)があります。彼は独立教組創立から3年目の書記長でした。私の高校時代の美術の先生で、とても魅力的な、芸術家肌の人でした。私の主任ほかは、美術をやめて漢文を履修するように、毎年、しきりに忠告をしてくれるのですが、森田先生の授業が受けられなければ学校に来る意味がないというほどに、私は思っていました。私はもともと三つ児の時から小学校の教師だけを目指してきまして、国語乙をとらされて音楽を履修できないだけでも残念でたまりませんでした。そのうえ美術まで取り上げられたら、毛をむしり取られた裸の鳥同然です。

その森田先生が、校庭の東端にある「友千鳥会館」にしょっちゅう出入りするのを見て、私が「何しに行きゆう？」と聞く、そのたびに「あーはっ」と笑うだけでした。独立教組の仕事が忙しかつたのです。私は、森田先生を心の底から信頼し、またご自宅にも何回か呼ばれて、先生をかなり知っているつもりです。だから、私が教師になつて最初の悩みが、森田早稲像でした。答えは見つかりました。一言でいって「反権力」です。生涯の芸術活動を見て、授業態度も、生きざまも、すべてそうでした。

森田先生がH校長の半ば強制にしろ、他のほぼ全員の同僚と独立教組に入した(ただ一人浜田昌俊先生が加入しなかった)ときの気持も「反権力」だったと思います。彼の目には、県教組が「権力」に見えたのでした。のちに、独立教組の「権力寄りぶり」を見た森田早稲さんは、富永さんの優しい誘いもあり、なんと高退協に加入したのでした。

H校長は、県教委が知事の任命制になるや県教育委員に選ばれました。そのH教育委員が事務局方に、こともあろうに私個人を名指しで任用しないよう厳命したのでした。勤め始めて2年目の校長もその異例さを大変不思議がっていました。当時の管理主事(のちに県立高校長)も、「学生時代に左だったくらいで任用するな」というなら、おおかたの者は任用できん」と怒っていました。とうとう、H教育委員出張のとき、私の名が任用名簿に載りました。帰ってきたH教育委員にこっぴどく叱られたと、すでに校長となつていた元管理主事は、そのときのてんまつをすっかり話してくれました。数十年後、私の高校時代の後輩(独立教組執行委員を数年した)が校長として赴任してきて、東部全体の初任研の講師をしたとき、能力はともかく独立教組に入っているとお世もできるとしゃべり、八方から叩かれて定年をまえにやめました。彼の思いは分かるのですが、申しません。

面白かった高退協親睦旅行

岡山湯郷温泉方面へ

官川 静代

実に楽しい旅であった。うれし  
い観光と癒しの温泉に加えて人の  
生き様を学べるのもこの旅の醍醐  
味である。私の場合、今回のそれ  
は「関谷学校」であった。

メンバーは朗年組。日常的に  
加齢が原因で起こる、自分の体や  
言動の変化を発見し、愕然とする  
事がある。これも自然の摂理かと  
思えば気も楽になる。この旅でも  
あちこちでドジ話の笑いが咲きほ  
こった一泊二日だった。

関谷学校は、岡山五十万石の藩  
主池田光政が民のために建立した  
学校である。思わず建立と書いて  
しまったが、それ程に立派な建物  
だった。多くの支配者は、己の欲  
望のために資財を費やす。民の教  
育のために建てたこの学校は、城  
や寺と同じ資材を使って、重厚で  
美しく堅牢な造りとなっていて、  
彼の教育への思いがじかに伝わっ  
てきた。自分の居所は質素だっ  
たという。彼の教育理念は知らな  
いが、建物自体が、教育の本質を  
訴えかけてくる気がして、しばし  
眺め入った。

この校庭に高さ十三メートルの  
学問の木とされる二本の「楷の木」  
が大空に翼を広げている。  
一本は赤く、一本は黄色にみごと  
に紅葉し、息をのむ美しさで人々  
の心をとらえている。

その夜の懇親会の挨拶で、三谷  
会長の「かいの木が紅葉していて  
期待したかいがあった」との、  
いつものあったかダジャレに一同  
大笑い。皆さんの「近況一言」に  
感じ入り、踊りあり歌ありの面白  
い宴だった。

ほのぼのの笑い話

ドジは嘆かず笑いましょう。  
いっぱいあったが一部を紹介。

(無許可ですが許して下さい)

○さん 「あれ？誰やったかなあ？

思い出せん」しばらく考  
えている。「そうだ  
名簿を見ればわかるわ」

△さん 「わかった？」

○さん 「今度は目が見えん」

☆ ☆ ☆

自動販売機でお茶を買おうとし  
ている。片方の表示が消えかかっ  
て読みにくいので、見える方を押  
すと水が出てきた。 □さん

「いやあお茶が欲しかったにイ」  
もう一人、種々あるコーヒーを  
長々吟味し、「よし！これが旨そう  
な」と押すとコーヒーが出てきた。  
「ヒヤーツー僕、コーヒーが欲し  
かったのにイ」

☆ ☆ ☆

醤油アイスクリームの幟旗が。  
▽さん 「酒ぶっかけアイスやっ  
たら買っに」

☆ ☆ ☆

一人前の飯を炊くとムカゴを  
摘む◎さん(女性)、  
押し葉にすると紅葉一枚を手のひ  
らにうれしそうな◇さん(男性)

ほのぼのの……

☆ ☆ ☆

旅の最後のオチは、バスを降りる  
三谷夫妻にかけた添乗員さんの言葉  
「二人並んで手をつないで帰って  
くださいね」

みなさん

来年度の十一月旅行にこうせ！

(ワッハッハ！)



明

特措法により、自衛隊をイラ  
ク及びその周辺地域に派遣し  
たことは、違憲であることを  
確認する。」との判決。そし  
て、平和的生存権の具体的権  
利を認めた。

自衛隊の違憲判決は、19  
73年の長沼ナイキ訴訟第一  
審までさかのぼらなければな  
ず、その後35年間、自衛隊  
の活動の違憲を判断した判決  
は見られない。この判決は憲  
法九条を守る運動の大きな力  
となった。高知には、50の  
会があり、みな頑張っている。

和田

講演イラク派兵違憲判決

こうち9条の会結成5周年のつどい

2004年6月に「九条の  
会」のアピールが発表され、  
4年5ヶ月を経て、全国に、  
7400の「九条の会」が結  
成されている。こうち九条の  
会は結成五周年のつどいを1  
1月に開催し、260名が参  
加した。

講師は、自衛隊のイラク派  
兵差止め訴訟弁護団の中谷雄  
二さんと、08年4月名古屋  
高裁は、「イラク特措法によ  
り、自衛隊をイラク及びその  
周辺地域並びに周辺海域に派  
遣してはならない。」「イラク

芸術祭・学年会・作品展

三日、高知城ホールに四  
八名が集いました。会場に  
は絵画と写真が展示されま  
した。絵画部門では矢野川  
滝男さん、山本哲資さん、  
井上徳治さんが出展され、  
写真部門では浜田隆史さん、  
野島幸子さん、和田明さん、  
田所昌澄さんが出展されま  
した。浜田昌俊さんは十一  
月の岡山親睦旅行を写真と  
資料でまとめた紀行集で紹  
介されました。

すてきな絵画と写真に囲  
まれた会場での望年会は、  
三谷会長と高教組掛橋書記  
次長のあいさつ、浜田昌俊  
氏の乾杯で始まりました。  
芸能祭は井上徳治さんのエ  
ネルギッシュな「しばてん  
踊り」でスタート。跡継ぎ  
を狙う島本さんもステージ  
に上がり大奮起。続いて、  
野島さんの「ほの字だね」  
(カラオケでも絶唱)、加藤  
さんの「南国土佐を後にし  
て」(岡山ツアーではかんか  
ん娘を披露され撮禁になっ  
た)の踊りで盛り上がって  
いきました。続いて岡崎さ  
んの詩吟「荒城月夜の曲を  
聞く」や、松山さんの子守  
唄「五木の子守唄」他、高  
退協青年部の「青春」など  
で賑いました。

五つのテーブルでは久し  
振りの顔合わせで、話も尽  
きることなく時間があつと  
いう間に過ぎました。最後  
に土居副会長の中締めに続  
いて、全員が手をつないで  
輪になり「緑の山河」を歌  
い、来年を展望しながら一  
本締めで散会しました。今  
年もまた楽しいひと時を綴  
りました。

いま、高教組は……

高教組教文部長 掛橋佐和

先日高校・障害児学校の教  
育研究集会を行いました。今  
年から教職員だけでなくより  
幅広い方たちに参加してもら  
いやすいようにと、「未来をひ  
らく教育のつどい」と名称を

変更しました。その以前から、  
高教組だけでなく、幅広い団  
体・個人の方からなる実行委  
員会主催ということで教研集  
会を行っています。もちろん  
高退協も実行委員会団体の一  
つです。ここ何年か「格差と  
貧困から子どもと教育をどう  
守るか」をテーマに全体会を  
もってきました。今年はず玉  
大学の岩川直樹先生に「貧困  
と学力」学びの土台を編み直  
す」というテーマで講演を  
していただきました。この全  
体会の参加者はここ数年では  
一番多く、特に高教組組員  
以外からの参加が大変多かつ  
たのが特徴です。高退協の先  
生方のお顔も例年になくお見  
かけしたように思います。後  
日その参加者の中から組員  
拡大も実現をするといううれ  
しいできごともあっています。

一方で、二日目に行った教  
科別分科会への参加者はここ  
数年では最も少ない参加人数  
となっています。昨年度と比  
較してみると、高教組組員  
以外の参加者はほぼ同じな  
ので、組合員の参加が減って  
いるということになります。  
二日間連続日程の見直し案も  
上がっていますが、そのこと  
と参加者数増減は関係ないの  
ではないかとの意見もありま  
す。わたしたちは教育の専門  
家として、決して授業を手放  
してはいけない存在です。「多  
忙化」の一言で片付けてしま  
っていいのか、さまざまな分  
析が必要ではないかと思っ  
ています。

確かに、学校現場はとて  
も忙しくなっています。今年  
は少し名簿登録の人数が増え  
たとはいえ、まだまだ多くの定  
数内講師がいます。少数職種  
も退職者の補充がなされない  
まま、副校長や主幹教諭とい  
った「新たな職」がモデル校  
におかれ、さらに増えようと  
しています。新しい人事評価  
制度や査定昇給制度等管理が  
強められ、本当に超多忙です。  
しかし「忙しい」「忙しい」  
とただ言っているだけでは、  
何も変わりません。高教組の  
仲間を自覚的に増やし、現在  
のしんどい状況を変えていけ  
るよう、学習と運動を強めて  
いければと考えています。

俳句

十月二七日干曜

春野町秋山

三十四番札所橋間寺

合田青幹

新しき門出を祝ふ秋日和

梨を売り肉桂酒売る種物屋

吉本伸秋

破れ蓮の暇もて余しもて余し

唐辛子頑固に赤くすがれ行く

中内英明

木犀や坊の広縁借り申す

菱の実に日差しのとどく沼日和

中内みち代

立ち上る煙真直ぐ窓の秋

棒立ちも矢折れも蓮枯れ進む

小笠原さちを

油葉のバケツの並ぶ秋日和

コスモスの花卉まじる

流れかな

短歌

初陽浴び

榊原忠彦

定診で待つ間想ひ出づ開戦日

晴天の朝は冷たかりしを

太宰治ら他に三人も生誕百年

読み視聴しつづ丑年暮るる

(三人)中島敦・山中貞雄・松本清張

初陽浴び館より出でて見はる

かす北山の真中工石山雄々しく

も

新しき年に寄せて

山本晶子

吾が生に加えたきもの何もなし  
ただ見守らんこの世の動きを

この先祖の血より生まれし吾  
なれば墓標に深く頭を下ぐる

父母よ、この世は生きるに値  
しました。存在させてもらい  
ありがとうございます。

新しき時代

叶岡淑子

友ら逝きし悲しみを越え歳かさ  
ね一筋の道この道をゆく

戦争を知らぬ人類となれる日を  
願うと語るマイケル・ムーア氏

新しき時代の来るを信じつつ踏  
みしめゆかん二〇一〇年

お詫びと訂正

前号の榊原忠彦さんの短歌二首  
のタイトル「終日雑詠」は「秋  
日雑詠」でした。  
前前号に続いての訂正をお詫び  
いたします。

川柳

梅檀の抄⑤

小澤 幸泉

淋しさを描き知ってる

酔いの目にただ妻だけが

ワンカップ父の癒えない

土に生き土に追われる

平凡がまだ追いかける

欲言えどもっと昔の

駅待ちに見知らぬ人が

眠りたいただねむりたい

旅ごよみやつと二人の

背信を知らぬ余生が

隅に生き



「仲間の輪を広げ、平和とくら  
しを守る」  
第十八回全退教四国ブロック  
交流集会開催される

は県民文化ホールオレンジホー  
ルで、高知センター合唱団創立  
5周年記念コンサートが開かれ、  
愛媛合唱団も参加されていると  
のことでした。

第2日目は、記念講演「愛媛の反  
骨、進歩の先人たち」講師 中川  
悦良(治安維持法犠牲者国賠要  
求同盟愛媛県本部会長)氏、「坂  
の上の雲」テレビ放映(11月29日)  
の問題など、今日の情勢につい  
てなど、魅力ある講演でした。  
湯ったり、楽しく交流すること  
ができた2日間でした。

【いのちの輝き、

平和であればこそ】  
有馬頼底師、12.9平和のつどい  
で講演された(12/9)「ソール」

300人の出席者に有馬師(京都  
仏教会理事長・臨済宗相国派管  
長金閣寺・銀閣寺住職で「世界の  
平和を求めめる京都宗教者連絡会」  
の呼びかけ人)は、「仏教のいう  
五戒の第一は不殺生です。人間  
と人間が殺し合う戦争は許され  
ません。戦争放棄を掲げた憲法。  
条は、多くの犠牲の上に手に入  
れたもので、われわれ国民の力  
で守っていくことを心に誓いま  
しょう」と呼びかけた。話のたび  
に拍手が起きるなど、参加者は  
熱心に聞き入っていた。  
文化行事がおこなわれ、芝村和  
夫さんが「折り鶴」などを歌った。  
県母歩や運動連絡会などでつ  
くる実行委員会の主催で、太平  
洋戦争開戦前後に毎年開いてい  
るもので、今年で15回目になる。  
(報告・小澤幸泉)

これからの日程

- 2010年1月6日(水) 新年初歩き・新年会 高知南嶺 春野町芳原自然と歴史の道
- 1月8日(金) 県高運連幹事会
- 1月12日(火) 高退協第9回事務局会議
- 1月12日(火) 県革新懇代表世話人会
- 2月2日(火) 高退協第10回事務局会議
- 2月9日(火) 県革新懇代表世話人会
- 2月11日(木) 建国記念の日に反対する2.11県民集会
- 2月12日(金) 県高運連幹事会
- 2月15日(月) 後期高齢者医療制度のすみやかな廃止を求める昼休み集会



三十五歳の思い出 其の二  
東大寺 戒壇院 松山 和雄

正月の三ヶ日を過ぎてもさすがに日本一の大寺、南大門から大仏殿に続く参道は着物姿の女性も多く結構な賑わいを見せている。次々と人々が吸い込まれてゆく回廊にそって少し歩くと、そこは人影もまばらな別世界になる。講堂址から西に抜けるこの道は私の戒壇院へのいつもの道。松林の葉枝を抜けて降る朝日が爽やかだ。道は池と僧院の間をゆるやかに下ってゆく。途中を左に折れて侘びた築地塀に挟まれた石段を抜けると目指す戒壇院の横手に出る。

初めて戒壇院をおとすれたのは教師になって間もななくの頃、廣目天の写真を見て心惹かれ、買ったばかりのカメラをさげて出かけた。朝早く地図を見ながらやつのことでもたどり着き、門をくぐると、受付らしき小屋はあるが人の気配は無い。勝手に奥へと足を進めると、お堂の脇に「御用の方は西隣の〇〇院までお声をかけてください」の張り紙がしてあった。早速少し離れた案内の建物の玄関で声をかけると、奥からエプロン姿の女性が怪訝な顔で出てきて扉を開けてくれた。中に入ると、堂内の空気が

### 介護保険見直し シンボ(12/6)

介護保険施行10年前に、介護保険を見直したためのシンボジウムが、高知城ホールにて、高知自治労連主催で開催され、介護労働者や同保険利用の家族ら40名が出席した。基調講演で田中きよむ教授(高知女子大学)は、「職員は制度や時間に管理され、量的にも質的にも制限されており、**「支え合う介護とは程遠い」**と批判された。講演で田中教授は介護労働者の劣悪な労働環境を指摘。「男性職員の1カ月の給与は全産業の平均より約15万円も低い22万5000円。まずは介護労働者らの平均賃金を上げて社会的地位を向上させないと、現場

は冷たく身体が熱が吸い取られてゆく。薄く埃をかぶった壇上へ上がると、多宝塔を中心にした永い時を重ねた四天王が立っている。廣目天に近寄ってみる。この一体だけが他と少し異なり動きを抑えて静かに「すー」と立っている。その立ち姿はなんとも上品で美しい。薄明かりの中さらに近づきお顔を覗き込んでみる。眉間に皺をよせ半眼の上目使いで彼方を見ているようだ。そばで見るとその眼はたとえようの無い凄みを放ち圧倒される、ところが、離れると離れるだけ穏やかに、何かを語りかけているようにみえる。しばらく目の高さや立つ位置を変えて眺めていた。

かつて幾多の僧侶が厳しい修行の末戒律を授かったこの聖なる戒壇の上に、四体の天部像にかこまれてただひとり。なんと贅沢な時をすごしたことだろう。あれから四十数年、帰りの門を出て石段を下ったあたりで振り返るとお堂は門の陰になっている。しかし、あの視線を感じる。「案ずるな、老いを楽しめ」と語りかけるように。残念ながら、現在は戒壇の最上段にあがることはできません。

次回予定 飛鳥路 川原寺

のサービスの質も向上しない」と訴えた。講演後、パネルディスカッションでは、特別養護老人ホーム職員・訪問介護員・ケアマネジャー・介護保険利用者らがそれぞれの立場で発言し、厳しい介護現場の現状を語った。藤原さんは「時間に追われ、利用者にお茶に誘われも飲む時間がなくなった」と話し、「介護保険制度によってヘルパーと利用者の関係は殺伐になった」と実態を明らかにした。また重光さんは「低所得者には本当に厳しい制度。自己負担の1割の利用料が払えず、おむつ交換などのサービスをおきらめる人もいる」と述べた。会場からも、現状や今後のあり方など、積極的な発言、意見、質問等が多く出された。(報告・小澤幸泉)

初月菜園だより 島本 聡

(1) ユンボ編 「稲をつくるのはあきらめようか」母は黙ってうなずいた。何の展望持たない政府の農業政策(減反政策)に服従したわけではない。環境が稲作を断念せざるものになってしまったのだ。山間の狭い段々の湿田が宅地にかわり、そこに家が建つ。急峻な尾根が切り崩され住宅台地となった。水源ともいえる山腹を高速道路が横切った。私の田の周りを住宅が取り囲んだ。細々と流れる水をたよりに、稲昨を続けていた田に真っ白な塗料や洗濯水が入り込み、ときには素麺やちりめんじゃこが浮いていた。炭での浄化や細菌による浄化を試みたり、水道水を引き込んだこともあったが、限界である。

**会費納入のお願い**  
2009年度分会費納入がまだの方はお早めにお願ひします。

稲作をやめ田を畑にするべく本を片手に「深さ1.2 m幅50 cmの暗渠を掘る。大変なことそうだがバックホー(商品名ユンボ)中古の小さなユンボを手に入れ意気揚々と田に繰り出し、いくつもあるレバーを迷い迷い操作しながら湿田に乗り入れる。ところが、どんな場所でも進んで行けるイメージのユンボが、田の中に沈んでいくのだ。前に後ろにとうごめいていると、亀が泥の中に隠れるように、ユンボが泥のなかに沈んでしまった。キヤタピラが小さいせいで、と少し大きいユンボで試みる。ま

た同じように沈んだ。「愛犬チロでも学習するのに」という妻つぶやきも聞こえない。さらに2倍ほど大きい3.5トンのユンボを買い入れ、なんとか溝を掘るのに成功。総延長では数百メートルになるだろう溝を掘りそこに山からとってきた竹や木の葉を埋めた。これで上質の畑だ。色々の野菜がわんさどできるはず。ところが梅雨の時期に入り長雨が続き続いた。するとあちこちに水たまりができ育っていた野菜は根が腐り全滅である。苦勞して掘った暗渠がなんの役にもたつていないのだ。上にかぶせた陶芸に使えそうな粘土質の土が水を通さないのだ。ならば土の改良しかない。「粘土質の土を団粒化し、水のけの良い土に換えるべし」。再び溝を掘りそこに草や笹や落ち葉をうめ、さらに牛糞堆肥を混ぜ込みやっとな列の畝ができあがる。道行く人は私がいとも掘り返しては埋め戻すのを見て。

「ユンボに乗るのはおもしろいでしょうね」と不思議そうに声をかけてゆく。こんな作業をやりはじめてはや9年、三反ばかりの田がやっとな畑といえる状態になってきた。いまやユンボは農作業の最大の友達だ。溝をほるばかりでなく、除草や畝作り3歳の孫の高級おもちゃにと欠かせない。操作ミスからせつかく作った畝や作物、ときには畝や小屋の上に張つてある電線をも壊す。たとえ妻から「doghouse」と恐れられても、腰痛もちの私には手放せない愛車なのだ。スライドの1枚もあるわけではないが、壊れかけた頭のメモリーから、失敗の積み重ねの農作業を取り出して不定期便ニュースにて原稿の穴埋めを試みたい。次回予告「堆肥」